



福生市ゼロカーボンシティ宣言

平成 27 (2015) 年に採択された「パリ協定」により、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて、1.5℃に抑える努力を追求する」ことが世界的な目標となりました。

IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、平成 30(2018)年には「パリ協定の目標を達成するためには、令和 32 (2050) 年までに世界の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要」、令和 5 (2023) 年には「パリ協定の目標を達成するためには、この 10 年間で急速かつ大幅な温室効果ガスの削減が必要」であることが示されています。

国においても、令和 2 (2020) 年 10 月に 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」が宣言され、令和 4 (2022) 年 4 月に施行された改正地球温暖化対策推進法の基本理念にも「2050 年までの脱炭素社会の実現」が掲げられました。

福生市は多摩川や玉川上水、熊川分水といった水辺が近く、河川・水路沿いの緑地など、身近な自然に親しむことができる環境があります。

こうした豊かな自然環境を守り、未来に残していくためにも、世界や国の動きに足並みをそろえ、福生市においても 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする目標達成に向けて、取組を強化する必要があります。

令和 6 (2024) 年 3 月に策定した第 2 次福生市環境基本計画では、目指すべき将来像を「私たちが変わり 私たちが変える エコシティふっさ」としています。

「エコシティふっさ」を実現するには、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で、また時には協働して、環境について考え、行動することが必要です。

こうしたことから、福生市は、市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策に積極的に取り組み、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする、ゼロカーボンシティの実現を目指すことをここに宣言します。

令和 7 (2025) 年 2 月 26 日



福生市公式キャラクター たっけー☆☆ ©ebo eriko

福生市長

加藤育男